

公益社団法人

熊本県理学療法士協会

広報誌「かくどけい」

Vol.127

2018 MAY

特集

理学療法士

どんな仕事なの？どうしたらなるの？
理学療法士がお教えします

CONTENTS

PT Worker 理学療法士のお仕事

KPTA ニュース

熊本城マラソンにボランティアとして参加
第21回熊本県理学療法士学会記念講演

活動報告

第22回テーピング講習会 ほか

理学療法体験記

特集 理学療法士

最近ではこんなところにも…

- ★フィットネスジムやスポーツジム
- ★スポーツチームへの帯同
- ★プロスポーツ選手のサポート
- etc…



- ▼ **医療サービス**
病院 診療所
- ▼ **保健サービス**
特定保健サービス
介護予防
- ▼ **介護保険サービス**
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
老人保健施設
住宅改修・福祉用具のアドバイス
- ▼ **行政サービス**
市・区役所 保健所
保健センター
- ▼ **福祉サービス**
障がい者福祉センター
障がい児(者)通所入園学校
特別支援学校・学校
- ▼ **トータルヘルスプラン事業**
障がい者スポーツ
スポーツ障害予防
- ▼ **研究開発事業**
大学院 研究所
理学療法関連企業

**理学療法士って
どんな仕事なの？**

今後の活躍分野

最近では後期高齢化社会に伴い、福祉施設(老人保健施設や通所リハビリテーション施設)での需要が増えてきています。また、医師や看護師の不足や医療費・介護費を削減しなければならぬという背景から、訪問看護や訪問リハビリテーション事業所における理学療法士の需要が増加すると言われています。医療・介護の分野以外では、スポーツ分野で活躍する理学療法士が増えています。近年は健康者の健康意識が高まり、フィットネスジムやトレーニングジムなどにおいて理学療法士の需要があります。すでにプロスポーツの世界でトップアスリートのサポートを行っている理学療法士もいます。

理学療法士になるには

理学療法士として仕事をするには国家資格が必要です。理学療法士の国家試験を受験するためには、養成校で3年以上学び、必要な知識と技術を身につけることが必要です。養成校には4年制大学、短期大学(3年制)、専門学校(3年制、4年制)、特別支援学校(視覚障害者が対象)があります。熊本県内に理学療法士養成校は6校あり、4年制大学と4年制専門学校が主となっています。学校それぞれに特色がありますので、気になる学校がありましたらオープンキャンパスなどに行ってみてはいかがでしょうか。

[熊本県内の理学療法士養成校]

- 九州看護福祉大学**
玉名市富尾888
- 熊本保健科学大学**
熊本市北区和泉町325
- 熊本総合医療リハビリテーション学院**
熊本市小山2-25-35
- 九州中央リハビリテーション学院**
熊本市中央区本山3-3-84
- 熊本駅前リハビリテーション学院**
熊本市西区春日21-15
- メディカル・カレッジ青照館**
宇城市三角町波多2864-111

QRコードを読み取ると、各養成校のホームページにアクセスできます!

特集

理学療法士

**どんな仕事なの? どうしたらなるの?
理学療法士がお教えします**



皆様は理学療法士とはなにか知っていますか? 一重にリハビリと言っても、理学療法士、作業療法士、言語療法士など様々な職種があり、それぞれが専門分野を担って対象者への介入を行っています。我が国では2010年頃より65歳以上の人口の割合が全人口の約21%を占めるとされる超高齢化社会を迎え、リハビリに対する需要が高まってきている時代といえます。今回は、その「理学療法士」に焦点を当て、ご紹介したいと思います。

↓ **このようなことを主に行っています** ↓

基本動作能力の改善

「起き上がる」「立つ」「歩く」など、日常生活において基本となる動作の獲得を目指します。



個々の身体機能や症状の評価・分析

関節可動域検査、筋力検査、動作分析などの検査を行い、身体機能や症状の評価、分析を行います。



運動療法で、正しい動きの学習の指導

予防や治療の目的で筋力運動やバランス改善運動、腰痛体操など、対象者に合った運動療法を行います。



最適な理学療法プログラムの作成

評価や分析の結果から対象者の問題点を抽出し、最適な治療と予防のためのプログラムを提供します。



痛みや麻痺の回復に物理療法を行う

マッサージや温熱、寒冷、電気などの物理療法を行います。



自立した生活のサポート

地域やご自宅にて、生きがいのある生活を送れるように、住宅改修や福祉機器の効果的な使い方をアドバイスし、社会への参加をサポートします。



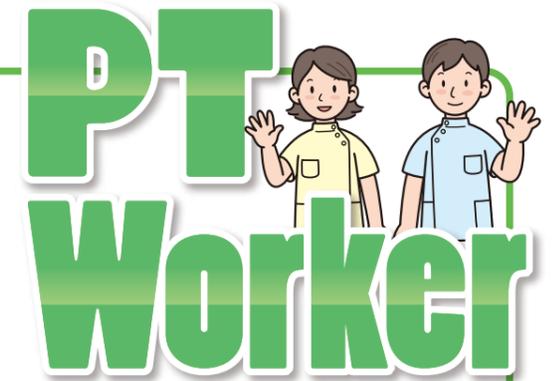
理学療法(士)って何をやるの?

まず**理学療法**とは、心と身体の両面から機能回復・維持・予防を目的に運動や物理的手段(温熱

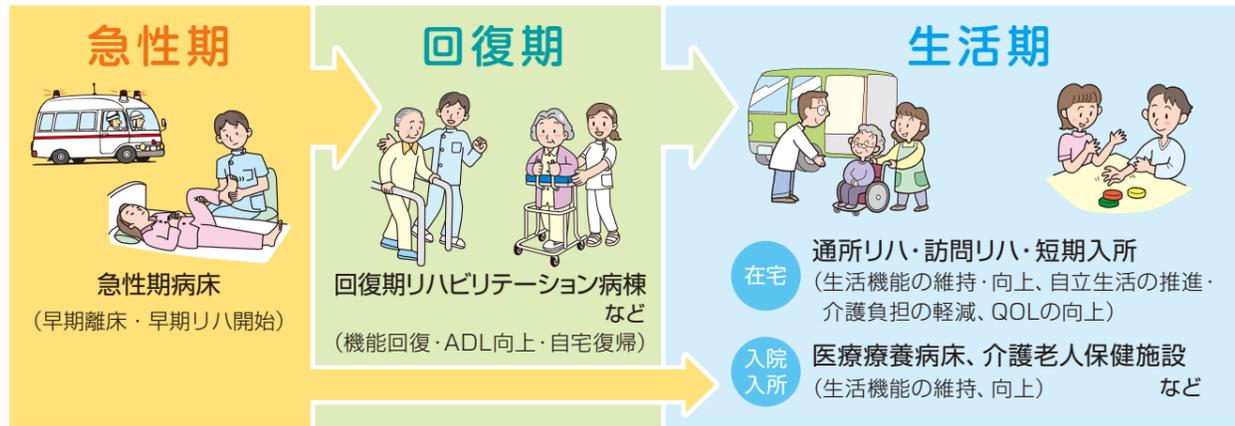
や電気など)を用いて行われる治療法です。さらに、日常生活を維持する為の指導や社会生活のための福祉用具、住宅環境、在宅ケアの調整なども含まれます。**理学療法士**は、主に左記に示

すような仕事を行っています。理学療法士は対象者ひとりひとりについて身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けたアプローチや支援をしていきます。

参考文献: 公益社団法人日本理学療法士協会発行リーフレット



理学療法士のお仕事



理学療法士は、ケガや病気などで身体に障がいのある人や障がいの発生が予測される人に対して、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持および障がいの悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法(温熱、電気などの物理的手段を治療目的に利用するもの)などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する医学的リハビリテーションの専門職です。

生き甲斐やその人らしさをサポートする自立支援、生活支援、健康増進、介護予防などの分野や、教育や研究などさまざまな場面で活躍しています。

今回は理学療法士としての役割を、生活期における「訪問リハビリテーション」に焦点を当てて紹介していきます。

訪問リハビリテーション特集

訪問リハビリテーションとは
訪問リハビリテーションでは、在宅で生活する様々なケガやご病気の方へ訪問しています。
対応疾患の一部としては、大腿骨頭部骨折や圧迫骨折などの整形疾患、脳血管のご病気の脳卒中、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病、廃用症候群(閉じこもりによる筋力低下など)です。
退院直後や在宅生活中ではあるが徐々に活動性が低下し生活に支障をきたした方などに向けて対応しています。退院直後から体の状態と環境との不

一致や、自宅内での役割や趣味活動の損失により、寝たきりになる場合もあります。そうならないよう環境調整や自主練習の指導、ご家族への介護方法の指導を訪問リハビリテーションの開始当初より実施します。
在宅生活の安定したご利用者の方は、ご自分の時間を有意義に過ごせるよう、家庭や社会での役割の再獲得や趣味活動を再開するなど実現をはたされています。
今回は、そんな訪問リハビリテーションに力を入れている施設をご紹介します。

訪問看護ステーション清雅苑 江口 宏

私たちは熊本市北区にある熊本機能病院併設の事業所から北区・合志市など半径約6キロ圏内を中心に訪問リハビリを展開しています。当事業所は平成5年から訪問リハビリを開始しました。日本で最も歴史の長い訪問リハビリ事業所の一つです。

脳卒中や神経難病、ケガなどで入院し心身に障害のある方が退院すると、住み慣れた自宅なのにまず玄関、の段差をあげるのに苦労します。これまで無意識に行っていたドアの開閉や、病棟にはなかったカーベット上で歩く際など自宅内を動くこと自体の難しさに愕然とします。そして生活すること自体に疲れ果ててしまうという現状がありました。その結果動くことがつらくなり、在宅復帰すると一日中じっとしている「閉じこもり」という状態になっていました。

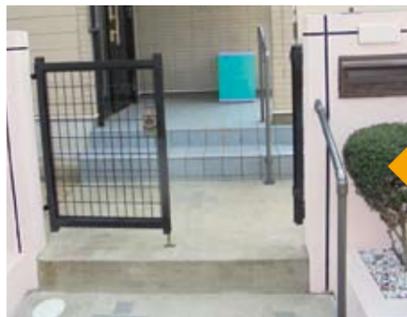


朝礼風景

当事業所は日本で最も早くこの現状に着目し、約25年間疾病と障害を併せ持った在宅生活者の「生活の再建」と「生活の質の向上」を掲げそのノウハウを身に着けてきました。

「生活の再建」とは、その人らしく生き生きとした生活を追求し立て直すことをいいます。「生活の質の向上」とは、生活上での身体的な苦痛を取り除くだけでなく、精神的、社会的活動

を含めた総合的な活力、生きがい、満足度を向上させることをいいます。これらの理念に基づいて訪問リハビリを遂行するために、当事業所の理学療法士・作業療法士は日々研鑽をつんでいます。これからも一人でも多くの疾病と障害を併せ持った在宅生活者の人生をしっかりと支えていきたいと思えます。



玄関先の改修後



玄関先の改修前



訪問リハビリ



生きがいづくりのための外出練習

(写真掲載はご本人の承諾済み)

活動報告

第22回テーピング講習会



平成30年2月4日に岡部病院にてスポーツ班主催によるテーピング講習会を開催しました。参加者は12名(理学療法士9名、作業療法士1名、一般参加2名)でした。内容としては、午前中にアスレチックテーピングの基礎知識と限界、基本的な技術・扱い方の講義を行い、午後は足関節のテーピング技術の習得を目標に実技を行いました。

今回は参加者2名に対してスタッフが1名でサポートを行い、細かいところまで伝えることができたと感じました。今後もテーピングの効果・技術の普及活動を行っていきたいと思います。



いきいき未来のつどい



平成30年2月25日に清水公民館において第34回いきいき未来のつどいが開催されました。

いきいき未来のつどいとは、北区役所管内の保健・医療・福祉分野の関係者と地域住民とが互いに連携しながら、安心して暮らせる地域づくりを目指して活動している団体です。理学療法士協会としては、午後からの体験コーナーにおいて腰痛予防・尿漏れ指導・スパイロメーターを用いた肺機能検査を実施しました。体操の指導や口頭でのアドバイスをし、参加された住民の方々への健康指導を行いました。住民の方々も喜ばれており、健康に対する意識改革が出来たのではないかと思います。



熊本市東ブロック市民公開講座



平成30年3月4日に平成唯仁館で『震災からの復興～自分の体の状態を知りこれから先も健康で過ごすために～』と題し、市民公開講座を開催しました。益城町民、民生委員の方々など20名近い方の参加を頂きました。震災を振り返るとともに、運動機能検査や体組成計などにより自分の体を知り、これからも元気に過ごすために、簡単な体操を実施しました。参加者からは『こんなに悪くなっていたとは』『自分の体を大切にしようと思った』などの意見を頂きました。復興に向けて道半ばですが、地域住民の健康のために理学療法士として尽力していきたいと思えます。



宇城市健康フェア2018



3月21日に宇城市保健福祉センターにおいて、宇城市健康フェア2018「血压管理で血管いきいき！」が開催されました。例年通り体力測定(片脚立ち・5m歩行・握力等)を行い、今年からストレッチ体操・パネル展示を行いました。朝からの小雨模様でメインイベントであるウォーキングが中止となりましたが多数の来場者があり、ブース参加者は過去最高の128名の参加を得ることができました。地域の健康増進活動に積極的にかかわることで日常勤務では得られない経験ができました。今後も予防活動に貢献できるように活動していきます。



熊本城マラソン2018にボランティアとして参加しました!!

平成30年2月18日(日)に熊本城マラソン2018が開催され、今年は約12,000名の完走を目指す参加者の方々が対象に、サポートをさせて頂きました。

本大会も第7回目を迎えますが、熊本県理学療法士協会は市民ランナーの皆様方のサポートを目的に、第1回大会よりボランティアとして参加しています。

コース終盤の36km地点にトレランブースを設け、協会のスポーツ班のメンバーが中心となり、各施設の下、対応を行いました。治療用ベッドやマットを準備してのストレッチ、沿道ではアイシングやスプレー式消炎鎮痛剤での応急処置を行いました。今年は例年以上に気温が高く、脱水や痙攣などの症状が多く、沿道でのアイシングも列ができる程でした。ストレッチなどの利用者と合わせて約1,500名が利用されました。



アイシングはおまかせあれ!

ボランティアスタッフによるストレッチ風景 ▶

うです!」などのお声を頂きました。わずかな時間ではありましたが、苦しい距離からのサポートを援護できたものと思います。

また来年も熊本県理学療法士協会は、市民ランナーの皆様方を全力でサポートしたいと思います!

第21回熊本県理学療法士学会にて記念講演を開催しました!!

平成30年2月25日(日)に九州看護福祉大学にて開催されました第21回熊本県理学療法士学会にて記念講演が行われました。講師を熊本大学名誉教授・熊本大学教職大学院シニア教授である吉田道雄先生にお願いし、テーマを「元気の職場創りのコミュニケーション・スキルアップ」New Ending Challenge のすすめ」と題しての公開講座で、200名近くの参加者がありました。

吉田道雄先生はグループダイナミクスを専門とされており、現在までに様々な実績あるリーダー研修を手掛けておられます。講演は職場における「コミュニケーション」と個人の「コミュニケーションスキルアップ」を促進するために、1つ目はNever Ending Challenge のころ、2つ目にコミュニケーションと対人関係のインフラ作り、そして最後にことばとコミュニケーションという3つのトピックスを中心にユーモアを交えながら、わかりやすく、立ち見が出るほどの盛況の中で行われました。

参加者からは、職場での人間関係を円滑に進めていくためのコミュニケーション



吉田道雄先生による記念講演

ケーションの大切さを学べた等の声が聞かれました。地域包括ケアシステムの構築が進み、世の中が変動していく中で、リハビリテーション専門職として我々理学療法士には今回の学会のテーマでもあった「変容」が必要とされています。専門職としてこれまで培った知識・経験に加え、コミュニケーション力も今以上に必要となり、「変容」の一部分として、今回の講演内容はとても有意義なものであったと思います。



感謝しております。
 て下さる、理学療法士の方に
 日々です。いつも明るく支え
 とができるように努力する
 日常生活をスムーズに送るこ
 また退院後のことを思い、
 頑張っています。

後期高齢者となり、骨折だ
 けはしないようにと普段から
 心掛けておりましたが、石段
 で転び足を骨折してしまいま
 した。
 元々運動や食事等気を配つ
 てはいましたが、今は理学療
 法士の方のアドバイスなど受
 けながら、衰えゆく体力・筋
 力の回復のためのリハビリを

70代女性(熊本市北区在住)

理学療法 体験記

実際に理学療法を受けて
 おられる県民の皆様の声
 を掲載しています。

↓ 当協会ホームページもご覧ください! ↓



理学療法士を
目指しませんか?

一緒に
いかがですか?

耳寄りな情報
詰まっています!

協会ホームページ



<http://www.kumamoto-pt.org/>

熊本県理学療法士協会

検索

ケータイからも
アクセスできます!



公益社団法人
熊本県理学療法士協会

TEL/FAX 096-389-6463

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35

E-mail : kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

〈シンボルマークコンセプト〉

テーマは『共創』です。人とひとが向かい
 合い、手と手を取り合う姿を、熊本の地形を
 デフォルメしたデザインに託しています。

赤：火の国、青：水の都、緑：阿蘇・天草

編／集／後／記

今回は「理学療法士」について
 特集をさせて頂きました。私自
 身、患者様との関わりの中で「理
 学療法士って何をするの?」との
 言葉を多く耳にします。今回の
 特集が日常生活において心身に
 不安がある方々や、将来理学療
 法士を目指したいと考えている
 方々の目に留まり、興味を持っ
 ていただければ幸いです。

(広報宣伝部 福田哲郎)